

	English	中文	交通アクセス・地図	お問い合わせ	サイトマップ	サイト内検索
	受験生の方	広大へ留学希望の方	一般・地域の方	企業の方	卒業生の方	在学生・保護者の方

大学案内

入試情報

教育・学生生活

研究

社会連携

留学・国際交流

学部・大学院等

研究所・施設等

広報・報道

採用情報

校友会・同窓会

支援財団・基金

図書館・博物館等

大学病院

附属学校

[トップページ](#) > [広報・報道](#) > [報道発表・報道された広島大学](#) > [平成20年1月-12月](#) > 南極昭和基地と中・高校生とのテレビ会議開催について

南極昭和基地と中・高校生とのテレビ会議開催について

NEWS RELEASE



広島大学学長室広報グループ  
〒739-8511 東広島市鏡山 1-3-2  
TEL:082-424-6017 FAX:082-424-6040  
E-mail:koho@office.hiroshima-u.ac.jp  
(※@は半角に置き換え送信してください。)

平成20年7月24日

### 南極「昭和基地」と中・高校生とのテレビ会議開催について いま、南極・北極が熱い！ 50年に一度の地球診断「国際極年」

広島大学大学院生物圏科学研究科の長沼毅准教授は、国立極地研究所の協力のもと、南極「昭和基地」と広島大学をつなぎ、テレビ会議による特別講義を、8月1日(金)に東広島キャンパスで開催しますので、お知らせいたします。

#### 1. 要旨

平成19年1月29日、南極の「昭和基地」が開所50周年を迎えました。50年前の地球診断のときに建てたからです。今、南極と北極を舞台に、50年ぶりの地球診断「国際極年」が実施されています。

「国際極年」は、世界各国が一斉に南極・北極を調べる地球生命科学の祭典です。その中核をなすのは、日本が主導する両極総合調査「MERGE」(代表者:広島大学大学院生物圏科学研究科 准教授 長沼毅、25ヶ国)です。

この特別講義は、両極総合調査「MERGE」の代表者である長沼准教授が、「国際極年」という絶好の機会に、その活動の一環として、ふだんは触れる機会の少ない南極・北極の環境・生態を中・高校生の皆さんに知ってもらい、そして、地球環境への関心を涵養し、次世代の研究者の育成を図ることを目的に開催するものです。広島大学では、これまで多くの南極・北極研究者を輩出してきました。今回の国際極年においても、中核拠点として国際協力に貢献しています。

なお、この特別講義は、広島大学と日本学術振興会が実施する「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI」のプログラムの中で行います。

#### 2. 日程等

- 日時  
平成20年8月1日(金) 10:00～17:00
- 場所  
広島大学東広島キャンパス 生物生産学部 C棟206号室(大講義室)
- 参加者  
中学生・高校生 40人程度
- スケジュール  
受付 9:00～10:00  
挨拶および説明 10:00～10:10  
広島大学大学院生物圏科学研究科 准教授 長沼 毅  
【講義1】 10:10～11:00  
南極・北極の環境の概説  
講師:国立極地研究所 准教授 伊村 智(第49次南極地域観測隊 総隊長)  
【実験】 11:00～12:00  
南極海における表層水の沈降と深層水の湧昇の演示  
昼食 12:00～13:00  
【講義2】 13:00～13:50  
極域生物の生態・進化系統の概説および現在進められている最先端研究の紹介  
講師:国立極地研究所 教授 神田啓史  
【クッキータイム】 14:00～14:50  
講義・実験等への質疑応答 ※テレビ会議の準備  
【講義3】 14:50～15:20  
南極昭和基地・越冬隊員とのテレビ会議  
【講義4】 15:30～16:20  
国際極年の歴史、目的と意義の解説  
講師:広島大学大学院生物圏科学研究科 准教授 長沼 毅

#### 広大公式アカウント一覧



## 【お問い合わせ先】

広島大学大学院生物圏科学研究科准教授 長沼 毅(たけし)

携帯 090-1187-4587 E-mail: takn@hiroshima-u.ac.jp

〒739-8528 広島県 東広島市 鏡山 1-4-4

TEL 082-424-7986 FAX 082-424-7916

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/hubol/members/naganuma.html>**参考資料**

「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI」

<http://www.jsps.go.jp/hirameki/index.html>

現在、活躍している研究者と大学の最先端の研究成果の一端を、小学校5・6年生、中学生、高校生が見る、聞く、触れることで、学術と日常生活との関わりや、科学(学術)がもつ意味を理解してもらおうプログラムです。独立行政法人日本学術振興会と国公立大学との共催で、平成17年度から実施しています。

---

>[広島大学公式ウェブサイトについて\(サイトポリシー\)](#) >[プライバシーポリシー](#)

Copyright(C) 2003-2014 広島大学  
\* [電話番号](#)・[所在地](#)  
<編集>: 広島大学広報グループ  
✉ [お問い合わせはこちら](#)